

N-LDC

職場リーダー 能力開発コース

仕事と人をリードする



- 対象** 監督者・職場リーダー「入社10年目から」
- 日程** 2日間
- 最適定員** 24名
- 事前課題** ■ ケースの読み込み「浅川リーダーのケース」 ■ 「TAS診断」の回答 (Web受検)
- 事後課題** ■ Action&Reflectionノートによる職場実践

🕒 カリキュラム

1日目

- オリエンテーション
- リーダーのあり方
- 目標管理能力を強化する
- 問題解決能力を強化する
[演習] 事例研究
[自己理解] TAS診断フィードバック

2日目

- 1日目の振り返り
- 組織化(チームワーク)能力/コミュニケーション能力を強化する
[演習] 話し方・聴き方実習
- 指導・動機づけ能力/育成能力を強化する
[演習] ケース映像視聴
- 指導・動機づけ能力/育成の考え方と方法
- 自己革新・啓発能力を強化する/自己開発計画の策定
[演習] Action & Reflectionノート・自己開発計画の作成・実行宣言
- まとめ

※Action&Reflectionノートについては41ページをご参照ください。

仕事と人を同時にリードし、組織の目標を効率よく達成する

職場を統率する立場として、リーダーシップを発揮するために必要な能力を習得します。

部下・メンバーへのリーダーシップに限らず、あらゆる関係者を巻き込んで人を動かすためには何をすべきか。

そのための考え方・方法を学びます。

これからのリーダーに必要な5つのシップと7つの能力を学ぶ

5つのシップ

- 1. リーダーシップ**
指導者としての能力・資質。統率力、指導力、地位・任務
- 2. フォロワーシップ**
リーダーのビジョンの正しさと実現可能性を評価する能力
コミットする能力
常に批判的にリーダーを評価し続ける能力
- 3. メンバーシップ**
自分の知識やスキル、ノウハウなどを用いて場に貢献すること
他のメンバーを支援すること
- 4. メンターシップ**
メンター・メンティー関係にある、「教え合う」関係
- 5. ラーナーシップ**
「自学自習」と、他者との対話による「相互作用の学び」を併せもつ「主体的学習」をし続ける性質・資質

TAS診断(対人能力向上診断)を用い、効果的なコミュニケーションを図る

TA(交流分析)理論(米国のE./バーン博士によって提唱)を応用して開発された「TAS診断」を事前課題として実施します。行動・対人関係面での自己の特徴を明らかにすることはもちろん、部下やメンバーの指導・育成など1対1のコミュニケーションを円滑に進める指針となります。

7つの能力

- 【業務の側面】**
- 1. 自己管理能力**
目標を部下・メンバーと共有・設定し、実績とギャップを分析・検討しながら目標を達成していく能力
 - 2. 問題解決能力**
問題を論理的・分析的に考察し、的確に解決していく能力
 - 3. 組織・チームワーク能力**
より良い組織づくりのため、部下・メンバーの力を結集し、魅力的な職場づくりを進める能力
- 【人の側面】**
- 4. コミュニケーション能力**
自分の考え・気持ちを分かりやすく、正確に伝達し、納得させるとともに、相手の考え・気持ちを的確に把握する能力
 - 5. 指導・動機づけ能力**
部下・メンバーにやる気を起こさせ、目的に向かって効果的に指導していく能力
 - 6. 部下育成能力**
部下・メンバーの持っている悪いクセを直したり、部下の能力領域の拡大を図り、育てていく能力
- 【共通】**
- 7. 自己管理・啓発能力**
以上6つの能力のベースとしての能力